

NIE 記者派遣事業 共同通信 伊藤愛莉記者講演会（2025年2月6日 洲本高校武道場）

～生徒感想～

◆記者になり人の話を聞いて記事を書くと言うことは人に信用されなければできないことだと知りました。人から信用されること記事を読んで見る世界を広げることはとても大事なことだと気づきました。

◆小さい頃から目指していたとか文章書くのが好きだからとかではなくて大学の就活のときに考え始めたと聞いて小さい頃からの情熱とか適性的なものがなくてもやりたい仕事に就けるんだと安心しました。この仕事がすごい好きなんだろうなというのが伝わってきました。新聞に載っている記事は全て発行している新聞の会社の方が書いていると思っていたのでそうではないと知って驚きました。

◆最初は難しい話なのかなあと思っていたけど、自分たちの知っていることをたくさん言ってくれてわかりやすかったです。私は記者の人は最近の会見などを見てあまり良いイメージがなくて、正直あんまり好きではありませんでした。でも、伊藤さんの話を聞いて、記者の良いところもたくさん知りました。自分で取材したり、記事を書いたりするのは難しそうだけど、自分の好きなことなどをとことん調べたりできるのはとても良いなあと思いました。とても良い時間になったと私は思いました。

◆記者という仕事に固いイメージを持っていたけど、伊藤記者が楽しそうに話しているのを見て、思っていたより身近な仕事であることがわかりました。朝の時間でしか新聞を読まないけど、今後はインターネットなどでも記事を見てみようと思います。

◆自分の将来の職業の選択として記者というのは自分の中でなかったけど、今回伊藤さんのお話を聞いてとてもおもしろそうな職業だなと感じました。今日伊藤さんのほっこりなお話を聞いてよかったです。これを機に家にある新聞を読んでみようかなと思いました。

◆新聞記者の仕事について知らないことがとても多かったので印象に残るお話が多かったです。大きな事件などだけではなく身近な事柄について取材できるところに魅力を感じました。なによりも、笑顔で自分の仕事についてお話している様子を見て、自分もこうなりたいなと思いました。

◆自分も一度記者という仕事に興味をもったことがあるのですが、すごくやりがいがありそうな仕事だと思いました。自分が書いた記事で、たくさんの人に情報を知ってもらって、興味をもってもらうことはすごくやりがいがあるんじゃないかと思いました。

◆探究心を持って知らない土地でいろんなことを知り、その上で経験を生かして自分の出身地で頑張ってみたいという気持ちが素晴らしいなと思いました。

◆私はテレビや携帯などで情報を得ることがとても好きです。暇があれば LINE ニュースを見て政治や豆知識などについて知る時間を取っているのですが、これからも情報に触れる時間を大切にしようと思えました。

◆新聞記者は、とても忙しい印象があり情報収集に追われているような生活していると思っていたので、地域の人との触れ合いなどを通して自分の時間を確保出来ていることを知れてよかったです。

◆新聞は私たちにとって多岐に渡る情報の入り口になるけど、そのテーマを見つけ、決め、調べて発信することは大変だろうなと思いました。

普段の生活では触れないことも自分から見つけに行くことは多分とても難しくて、やりがいがあるんだろうなと思い、少し興味が湧きました。

◆新聞記者に全然興味なかったけど話がとても面白くていつのまにか真剣に聞いていました。県内をいろいろ取材しにいたり、いろんな人に出会える仕事でとても魅力的な仕事だと思いました。

◆記者は最近の流行りやみんなの目に着くようなものしか書いたりしないものなのかと思っていたけど、自分の興味のある分野にも携われるというのはおもしろいなと思いました。また、自分の知らない分野についても学べるので新しい知識や見方を身につけることができるのもいいなと思いました。

◆愛媛県にいつかみたいとおもいました！

◆なかなか聞けない内容を聞くことができ、面白かったです。新聞に書かれている記事は全部新聞社の記者の人が取材したものだと思っていたけれど、共同通信の人が取材したものだったりして、ビックリしました。自分が知りたいと思ったことを取材できるのはいいなと思いました。自分は SNS の情報とかを鵜呑みにしそうになったりするので、得た情報を取捨選択できるようになりたいと思いました。

◆新聞記者の仕事について知ることができて良かったです。言い方はあんまり良くないかもしれないけど新聞記者の人が忙しくない世の中になればいいなと思いました。世の中にあたたかい記事が増えることを願います

◆記者という仕事をあまり考えたことがなかったので今回の講演は今までとはまた違う考え方が自分の中で生まれたような気がします。新聞を見る時、その情報すべてがその新聞社の人考えたと思っていたので共同通信社が作った情報もあるのだと知りおどろきました。テレビでも記者という存在を見る時はありますが、あまりその仕事が調査する以外になにか他にあるのかなと疑問をたくさん持っていたので、今回多くのことを知れてよかったです。記者という仕事だけではなく、他の仕事だとしても、自分に合った自分を出せるような仕事につけるように頑張っていきたいと思います。

◆新聞記者になる人は小さい頃からずっと新聞とかニュースが好きな人になるのかなと思っていたけど、伊藤さんはパン屋さんとか保育士とか私たちにもよくありそうな職業になりたかったってゆっていたので、親近感が湧きました。また記者をすることで、色んな分野の情報を手に入れることが出来ていい職業だなと思いました。私も自分がやりたい仕事を見つけてやりがいを持って仕事をやりたいです。

◆今日の伊藤記者の講演会を聞いて、将来の職業を決める時はお金儲けたらその職業でいいとかではなく、自分が興味あり、たのしんだりやりがいがある職業を選ぶことも大切なのだと学びました。そして、最初、新聞記者は毎日インタビューして発行して忙しくて大変なイメージがありました。しかし、今回の講演会を聞いて、大変なこともあるけど地元の人や有名な人、政治家などのたくさんの人と交流することができたりたくさんやりがいのある職業だと知り良いイメージを持ちました。

私はまだ将来なりたい職業は決めれていないのですが、今日の講演会で学んだことも参考に決めていきたいなと思います。

◆自由に旅などしながら自分の好きなことを調べて記事にするというお話にすごく魅力を感じました。自分もいっぱいなりたい職業があり、ころころ変わっては進路に悩んでいます。でも伊藤さんの話を聞いて私も好きなバイトを経験してみようかなと思いました。福祉にも興味があります。いっぱい経験を積んで自分の興味惹かれることをみつけてそれについて探求していくのはすごく楽しいことだと思っています。ワクワクします。